

# ヘラシギ

*Eurynorhynchus pygmeus* (Linnaeus)  
チドリ目・シギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠA類

## 選定理由

本種はベーリング海沿いのチュトコ半島の一部で繁殖する、極めて個体数が少ない世界的な絶滅危惧種である。本県でも、福井新港の造成途中に、ほかのシギ・チドリ類と共に、造成途中にできた池の岸辺に飛来した記録があるため、国の基準に準拠した。

## 種の特徴

全長 15 cm、最も小型のシギ類に属し、ヘラ状の特異な形をした嘴を持つ。干潟、砂浜、埋立地、河口部等に飛来し、嘴を左右に振りながら小さな甲殻類や昆虫類を採餌する。日本では旅鳥として春と秋に渡来するが、秋に多く、日本海側の記録の方が太平洋側より多い。

## 分 布

日本には稀な旅鳥として、干潟や砂浜に飛来するが、国内での越冬記録もある。県内では、1978年、1979年、1989年に、三国町の福井新港で確認された。

## 生息を脅かす要因

福井新港の造成により三里浜の面積が減少し、シギ・チドリ類の中継地は悪化したままの状態が続いている。本種をはじめ多くのシギ・チドリ類は減少傾向が著しいことから、中継地を造成する等の抜本的な自然再生が必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県自然環境保全調査研究会（1999）、福井県（2002）、大西・真木（2000）、高野（2015）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○						

# タマシギ

*Rostratula benghalensis* (Linnaeus)  
チドリ目・タマシギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

本種は 1965～2005年までの間に、旧金津町、旧芦原町、旧三国町、旧坂井町、福井市川西、旧清水町、鯖江市、旧朝日町、旧宮崎村、旧武生市、旧今立町、旧南条町、敦賀市、美浜町、旧三方町の平野部で記録があるが、現在はほぼほとんどで消失し、危機的水準にまで減少している。

## 種の特徴

全長 25 cm。眼が大きく、眼の周りの淡色部、胸の白線とそれに続く背の黄色線が目立つ。雌は喉～胸が赤褐色で、雄より美しい。繁殖期には雌が鳴き、一妻多夫で繁殖する。造巣～育雛は、雄が単独で行い、昆虫類、ミミズ、貝類、甲殻類、草の種子等を食べる。

## 分 布

東南部以南の水田、蓮田、湛水休耕田等に、留鳥もしくはは漂鳥として生息する。本県では旧 15 市町村で生息記録があるが、2010年以降の記録は丹南地域での 7 件しかない。

## 生息を脅かす要因

湿田や湿地を好むため、乾田化や湛水休耕田の減少には大きな影響を受ける。また、ネオニコチノイド系農薬が、鳥類の不妊原因になっているという報告もあり、今後の研究に注目する必要がある。湛水休耕田と無農薬・減農薬の拡大が、本種の存続への重要なポイントになると考えられる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県（2002）、高野（2015）、中村・中村（1995）、大西ら（2014）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○		○				○		○			○

# コアジサシ

*Sterna albifrons* Pallas  
チドリ目・カモメ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

1990年代までは、周囲を川で囲まれ、人が出入りにくく、植生がまばらな福井市内の九頭竜川の中洲に、集団繁殖地が形成されていたが消滅した。その後は、2002年と2005年の1羽、2013年の2羽の確認例以外は記録がなく、本県における生息状況は絶滅に等しい状況にある。

## 種の特徴

全長 25 cm、夏羽では額が白く、頭頂～後頭にかけては黒い。背と翼の上面は淡青灰色、腰・尾・体の下面は白い。海岸の砂浜や中洲にコロニーを形成して繁殖する。水面上空を飛び回ったり、ホバリングしながら小魚を探索し、みつけると嘴から飛び込み捕える。

## 分 布

夏鳥として、本州以南の海岸の砂浜、埋立地、河川の中洲等で繁殖する。本県でも、かつて福井新港、日野川、九頭竜川等に集団繁殖地があったが、現在は消滅している。

## 生息を脅かす要因

釣り客による攪乱、中洲の被覆化や洪水による沈水、天敵のチョウゲンボウの増加により、安定して繁殖できる場所がなくなった。現在は集中豪雨の頻発により、植生のない中洲は再生されつつあるが、今のところ本種が戻る兆候はみられない。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県自然環境保全調査研究会（1999）、福井県（2002）、大西・真木（2000）、高野（2015）、中村・中村（1995）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○						○